



国の施策及び予算に対する要望活動

11月26日、政務調査会では3班に分かれ、国土交通省・総務省・農林水産省・文部科学省・経済産業省・内閣府・厚生労働省・こども家庭庁にて府の施策への支援を要望しました。

1班 国土交通省の水嶋智国土交通審議官に、魅力ある地域づくり・基盤整備についての要望書を提出



左から、宮下議員、田島議員、田中議員、磯野議員、近藤団長、水嶋智国土交通審議官、荒巻代表幹事、中島議員、古林議員

2班 経済産業省の片岡宏一郎大臣官房長に、人や自然との共生社会づくり・未来を拓く産業づくりについての要望書を提出



左から、大澤議員、兎本議員、家元議員、片岡宏一郎大臣官房長、中村代表幹事、津田議員、青木議員、能勢議員

3班 内閣官房の丹羽克彦国土強靱化推進室次長に、命と健康を守り抜く安心の構築についての要望書を提出



左から、渡辺議員、瀧脇議員、森口議員、丹羽克彦国土強靱化推進室次長、小巻議員、武田議員、藤山政調会長

令和6年度12月補正予算

予算総額 72億9,300万円 債務負担行為 353億7,400万円

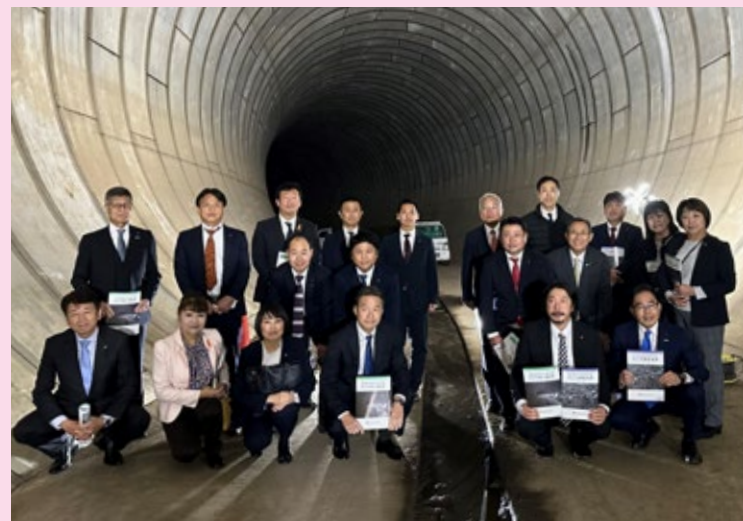
【冒頭提案】(12月2日提案)※債務負担行為のみ

- ◆向日町競輪場内に京都のシンボルとなるアリーナを整備 348億5,200万円
- ◆大阪・関西万博のオープニングイベント開催等に向けた企画検討など 事前準備を加速 8,900万円
- ◆府営住宅向日台団地の建替工事にインフレスライド条項を適用 4億3,300万円

【追加提案】(12月11日提案)

- ◆人事委員会勧告による職員の給与改定等 72億9,300万円

管外調査 白子川地下調節池に係る調査



白子川地下調節池は、東京都練馬区にある取水施設と石神井川取水施設を延長約3.2kmをシールドトンネルで繋ぎ、白子川取水施設に、管理棟、排水設備、換気設備等の維持管理施設、石神井川取水施設に排水設備を整備した施設である。「未来の東京」戦略version up2024の計画の一環として、近年激甚化している風水害から都民の命と暮らしを守る対策を強化している。今後、完成済みの「神田川・環状七号線地下調節池」と連結させ、国内最大地下調節池を整備する予定である。

京都府議会 今後の予定 令和7年2月定例会(日程)

令和7年 2月12日(水) 開 会	2月25日(火)
2月17日(月)	3月10日(月) 予算特別委員会
2月18日(火) 代表質問	3月12日(水)
2月19日(水)	3月18日(火)
2月20日(木) 一般質問	
2月21日(金)	3月19日(水) 閉 会 日



令和6年12月定例会において自民党議員団は以下の質問を致しました。

※12月定例会での質問内容の一部抜粋です。詳しくは京都府議会のHP録画中継でもご覧頂けます。



12月定例会 代表質問

厳しくなる財政状況の中で、来年度の予算編成は？ また、府民の安心・安全をどう確保していくのか、知事の考えを聞く

長岡京市・乙訓郡

能勢昌博



- 1、令和7年度に向けた当初予算の編成について
○どこに重点を置き当初予算を編成するのか。また、どのように財政運営を行うのか。
- 2、流域下水道における汚泥処理の共同化について
○4浄化センター間での汚泥処理の共同化を早急に進めるべきでは？
- 3、闇バイトの対策について
○府内における闇バイトに関係する強盗事件の発生状況と相談状況は？また、今後闇バイト問題に関してどう対応していくのか。
- 4、橋梁（道路橋）の長寿命化対策について
○本府における橋梁の長寿命化計画の取組状況は？
○長岡京市の馬場橋の整備についての考えは？

関山陰近畿道有料化の実感できる効果を圏有料化の財源を活かして、一日も早い全線開通に向けて全力で取り組む

京丹後市

森口 亨



関子育て環境日本一は、全ての人の人にとって暮らしやすい共生社会の実現と同義であるが、時代やニーズに合わせ、条例や施策の見直しが必要だ。これまでの府民の意見や課題とその反映は？
関アンケートや業務の中で把握した課題を踏まえ制度を見直している。「おもいやり駐車場利用証制度」の利用期間も産後1年までだったが、延長を求める利用者の声を反映し、今年度中にも利用期間を延長したい。
関農業施設の再整備が必要な丹後国営開発農地は、機能回復だけでなく、省力化や生産性の向上も必要だが？
関安定して用水を確保するために老朽化したポンプやパイプラインの更新、果樹の自動かん水装置や液肥などの自動点滴装置の導入、病虫害や鳥獣による被害防止に有効な多目的防災網の設置などを支援する。

- ①歴史的価値の高い京都の文化支援を!
- ②災害発生時の医療提供体制について
- ③府市連携による周遊観光への取組み

伏見区

瀧脇正明



- ①日本酒などの「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。京都府内には酒蔵が約40社あり、清酒の生産量が全国2位の規模を誇っています。今回の「伝統的酒造り」の登録を契機として海外での「京都の日本酒」の知名度向上へ取組みを進めて頂きたい。
- ②災害発生時に重要となる医療提供体制の構築に平時から取組ことが重要。近年、全国で発生している豪雨災害に対応するため、京都府でも常設の危機管理センターの開設など、災害対応への取組を進めているが、医療チームの受け入れ態勢の構築をさらに進めて頂きたい。
- ③知事と市長の府市トップミーティングの成果として実現した周遊観光事業をさらに進めることで観光客が集中する有名観光地から京都府内の魅力ある地域に足を延ばしてもらおう取組を進めて頂きたい。

児童相談所による「誤認保護」について一時保護した児童と保護者等との面会・通信の制限は、ごく限定的にすべき!

綾部市

四方源太郎



「児相職員から虐待を認めなければ娘さんは返せない。このまま虐待を否定すると裁判で施設に送り、成人するまで会えなくすると言われた」という相談を受けたことがあります。
いくら「虐待していない」と訴えても耳を貸してもらえず、実際に裁判になりました。結果は「虐待はない」との判断で、児相は申し立てを取り下げました。
この問題の総括は所管した児相内だけでこっそりで行われ、本庁や他の児相には共有されていなかったことが質問に対する答弁で明らかになりました。
知事は「保護者等の面会制限は最小限に、面会制限を行う場合には子どもと保護者にその理由を十分に説明し、理解を得よう努める」と答弁。「意見表明等支援員と子どもが接する機会を増やす」とも述べました。

- ①生成AIによる府民サービス向上について
- ②歯と口の健康増進の支援について
- ③観光問題解決による地域活性について

中京区

青木義照



- ①生成AIを活用し行政DX推進 行政業務の効率化に向けて、生成AIを活用し、職員の負担軽減と住民対応の迅速化を目指す。府民が実感できるサービス向上を進め、最新技術を行政運営に活かす方法を提案する。
- ②歯と口の健康づくりの強化
フッ化物洗口を広げ、健診機会を充実させることで、子どもから高齢者まで健康格差を縮小。歯科疾患予防や口腔ケア推進により、健康寿命を延ばし、府民生活の質向上を図る。
- ③観光地の課題解決と調和
違法駐車や渋滞問題を解消し、外国人観光客のマナーを向上させる仕組みを強化。地域住民の暮らしを守りながら、観光産業と地域環境の調和を実現する取組を進める。

◎特急「はるか」山科駅延伸により、京都の東の玄関口にふさわしい山科駅になるよう、改良工事において北側改札口の設置を要望

山科区

大澤彰久



◆府市トップミーティングについて
様々な分野において京都市と連携・協力を進めていく中で、文化芸術分野における具体的な取組として、現代アートをテーマとした京都府の「アートコラボレーション京都」と古美術・近代美術等をテーマとした京都市の「アート京都」を連動させ、京都を訪れる国内外の人々にとって魅力的な取組になるよう提案。
◆ひとり親家庭への支援について 「子育て環境日本一」の実現に向けて、困難を抱える子育て家庭を支える環境づくりとして、こども家庭庁の養育費等の履行確保に資する取組を活用し、公正証書の作成費用の補助等を通じて、ひとり親家庭の経済的基盤の安定のため、養育費確保に向けた取組の推進を提案。
◆道路交通網のリダンダンシーの確保について 防災・減災対策において、道路交通網のリダンダンシーの確保は、極めて重要であり、「国民の生命と財産」を守るためには、平時においてインフラ整備を推進する必要があり、またリダンダンシーの観点と地域の経済文化と社会の発展のため「新しい国道1号バイパス早期実現」に向けた取組の推進を提案。

- ①建設産業の人材確保対策について
- ②丹後半島の道路強靱化について
- ③水産業の振興について

宮津市・与謝郡

中島武文



- ①建設業の年齢別就業者数の割合は全産業の平均と比較すると、55歳以上の割合が高い一方で、29歳以下の割合が低いなど、高齢化が進行している。建設業が将来にわたって役割を果たしていくための人材確保や働きやすい環境整備を行っていくべき。
- ②国道178号（宮津市日置・伊根町）強靱化や主要地方道網野岩滝線（男山地内）、主要地方道宮津養父線（岩屋峠）の整備を図ると共に、発災後、迅速な道路機能を確保するため、道路啓開計画の策定に努め、災害に強い丹後半島の道路ネットワークを構築すべき。
- ③若い方々に京都府の漁業に夢と希望をもってチャレンジしてもらえるよう、漁業者の人材確保と所得向上に向けた取組を強化すべき。また、漁場環境の変化に対応した二枚貝養殖の取組を進めるべき。

- 1、府北中部地域における広域防災体制について
- 2、野生鳥獣被害対策について

舞鶴市

池田正義



■常設のヘリポート整備について
令和6年度能登半島地震では、陸路、海路による救助や物資提供等の支援が困難となった。今年度から沿岸地域や中山間地域での常設ヘリポート整備費が国予算にメニュー化され、UPZ市町との協議を進めていると聞いているが、協議状況はどうか、また、舞鶴市の大浦半島に整備すべきと考えるがどうか。
■京都舞鶴港の機能強化について
広域防災活動拠点として、どのように機能強化するのか。第3ふ頭の整備状況はどうか。
■野生鳥獣被害対策について
ツキノワグマの出没件数が過去最高を更新し、人身被害も増している。住民の安心・安全が最も大切であり、捕殺上限数の見直しや猟友会・職員等の人材育成について、今後どのように取り組んでいくのか。

- ①市町村における持続可能な下水事業について
- ②山城地域のほ場整備の推進について

京田辺市・綴喜郡

古林良崇



①関宇治田原町下水道の木津川流域下水道への編入に向けた検討状況と関連市町への影響は？
関流域下水道への編入により宇治田原町で処理施設を廃止でき、管理費の軽減に繋がる。他の構成市町でも、宇治田原町が加わることで負担割合の減少と処置費用の軽減に繋がるため、早期の事業着手を目指す。
②関ほ場整備を進めるには、事業計画の策定や権利関係の整備などを総合的にコーディネートできる専門人材に最初の段階から関わってもらう必要があるがどうか？
関近年、担い手の高齢化等により地元を牽引するリーダー不在の地域が多いため京都府としては、ほ場整備の理解醸成や意向把握などの初期段階から、広域振興局に配置する専門知識を持った職員が地域に入り、新たな地域リーダー育成に努めながら、ほ場整備実現に向けた伴走支援を行う。